



COCOON

地域とつくるMaaSとモビリティ



SUN AVTAS CO., LTD.

2023/03/06



1899 (明治32) 年 開業
(六郷橋~大師間の桜並木を行く電車)



1914 (大正3) 年 関東の私鉄として初の住宅分譲に挑戦
(生麦住宅地)



1998 (平成10) 年 羽田空港駅 (現 羽田空港第1・第2ターミナル駅) 開業



品川駅前および西口地区で進む再開発事業

グループ連結従業員数：8,938人



鉄道営業キロ	京急線 駅数	賃貸オフィス	賃貸マンション
87km	72駅 <small>※ 東岳寺駅を除く</small>	約59,000m ²	793戸
百貨店・SC	スーパーマーケット	ビジネスホテル	京急プレミアムポイント会員数
9館	49店舗	2,236室	約110万人

※ 2022年7月現在

・ 関東初の電気鉄道として創業、120年以上の歴史

・ グループ理念

「都市生活を支える事業を通して、**新しい価値**を創造し、社会の発展に貢献する」

Part 1 . 京急沿線エリアマネジメント構想「COCOONプロジェクト」

Part 2 . (事例) 三浦半島エリアマネジメント「三浦COCOON」

Part 3 . MaaS高度化を目指す「新しい京急沿線まちづくり」

Part 1 . 京急沿線エリアマネジメント構想「COCOONプロジェクト」

Part 2 . (事例) 三浦半島エリアマネジメント「三浦COCOON」

Part 3 . MaaS高度化を目指す「新しい京急沿線まちづくり」

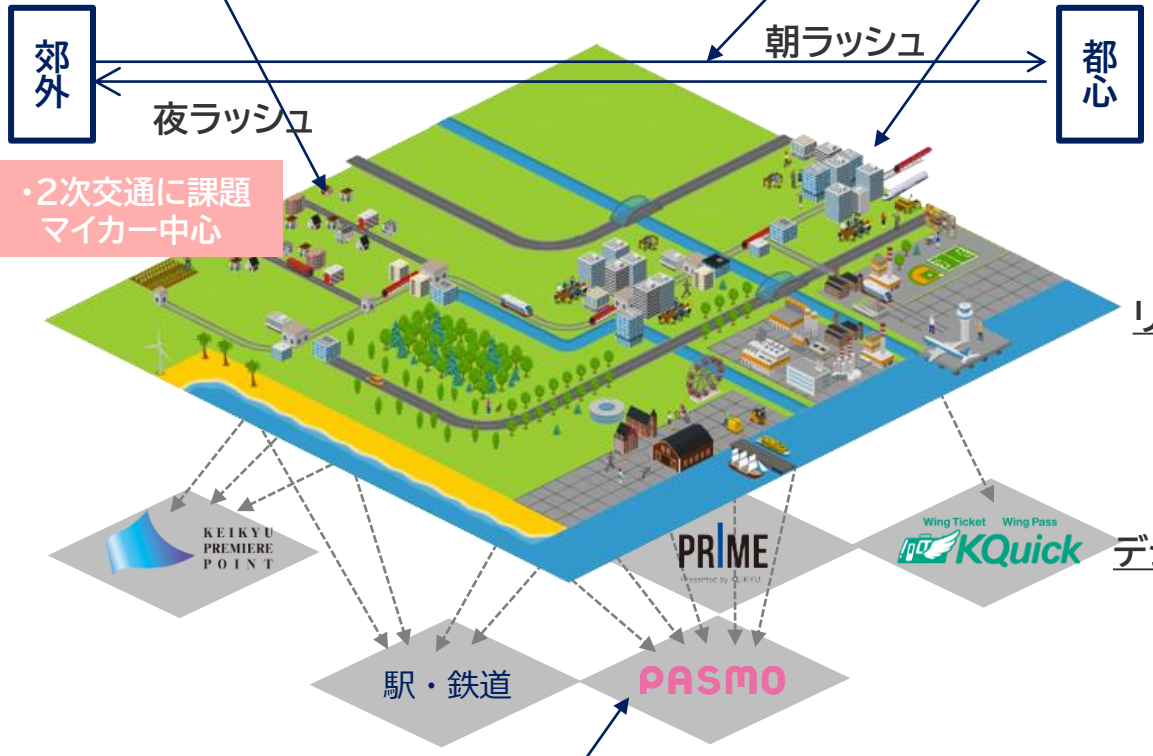
新しい沿線まちづくり (多極型まちづくり)

(1) 従来の沿線まちづくり

- ・ベッドタウンとしての郊外
- ・「住」のみで「働」「楽」は少ない
- ・昼間人口が少ない
- ・都心から遠いほど不動産価値小

- ・「働」「楽」は都心に一極集中
- ・良質な「住」環境は少ない

- ・都心への一方向大量輸送
- ・瞬間需要対応による過剰資産
- ・収入の多くが通勤通学需要

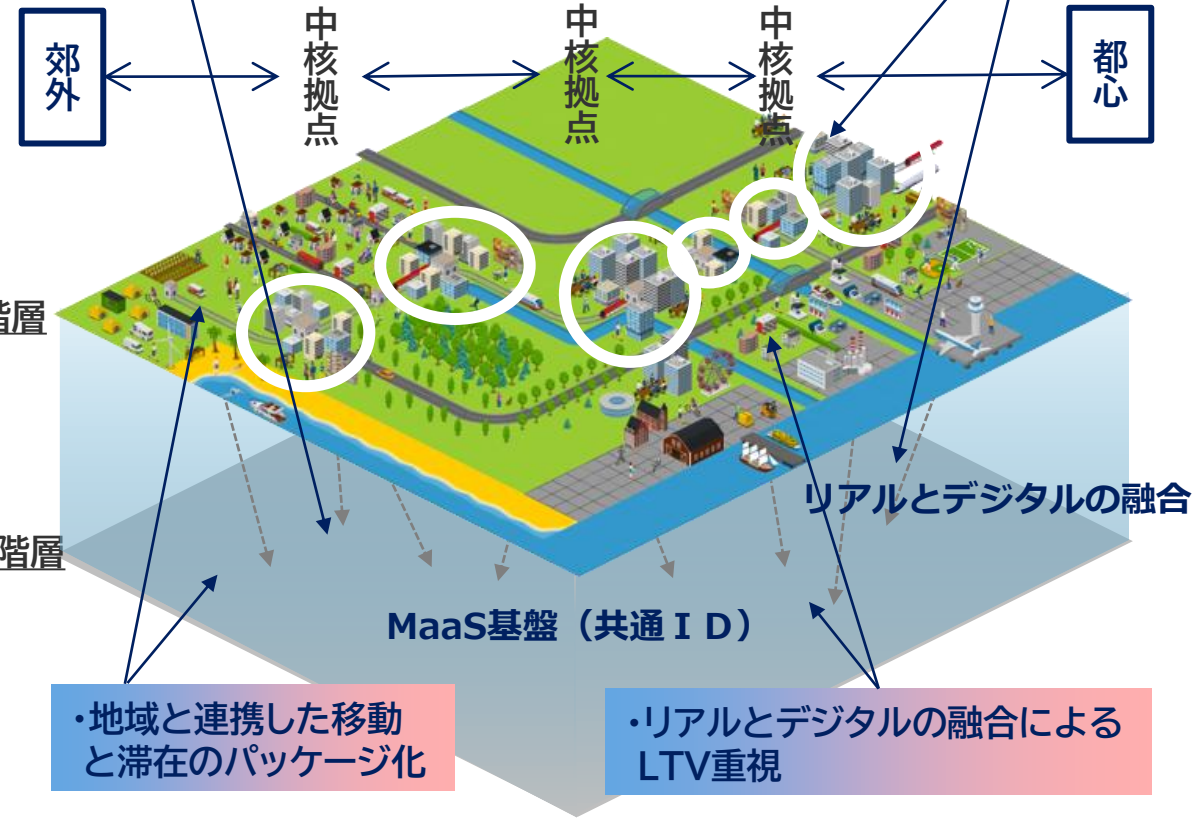


- ・目的ごとにシステムや顧客DBが混在
- ・デジタルは、「あくまでリアルを補完するもの」程度の活用にとどまる

(2) 新しい沿線まちづくり

- ・沿線各地に「住/働/楽」がそろえる生活圏としての**中核拠点**構築

- ・生活圏内や中核拠点間の多様な移動需要への対応



- ・地域と連携した移動と滞在のパッケージ化

- ・リアルとデジタルの融合によるLTV重視

郊外⇔都心の二極構造のまちづくり から

中核拠点と多様な移動需要による多極型まちづくり

- 2022年8月、三浦半島のエリアマネジメント「三浦COCOON」を沿線全域に拡大

- 「COCOONプロジェクト」として、各エリアでのエリアマネジメントを強化

KEIKYU GROUP
NEWS RELEASE

22073AK

KEIKYU
京急電鉄 おおたCOCOON

2022年8月22日

地域事業者、自治体、教育機関、住民と共創する新しい時代の自律分散型まちづくり 京急沿線エリアマネジメント構想「COCOONプロジェクト」開始 第1弾の交流拠点「COCOONひろば平和島」&情報サイト「おおたCOCOON」開設

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，社長：川俣 幸宏，以下 京急電鉄）は、京急沿線で地域と共創するエリアマネジメント構想「COCOON（ココーン）プロジェクト」をスタートします。

これは、地域特性に応じ、地域事業者や住民、自治体、教育機関等と連携したエリアマネジメントを深化するとともに、2020年から取り組む「三浦COCOON」で構築したMaaS基盤を沿線全体に拡大することで、地域の個性を活かした「暮らしたい、働きたい、訪れたいまちづくり」に取り組むものです。

当社はこれまで、三浦半島エリアで地域事業者、自治体など142団体（2022年8月22日現在）参加の「COCOONファミリー」と滞在拠点やMaaS整備に取り組む「三浦COCOON」や、横浜市と連携協定を締結し、横浜市南部地域における公民連携のまちづくりを推進するとともに、川崎市とも包括連携協定を締結するなど、沿線の各地でエリアマネジメントを進めてきました。

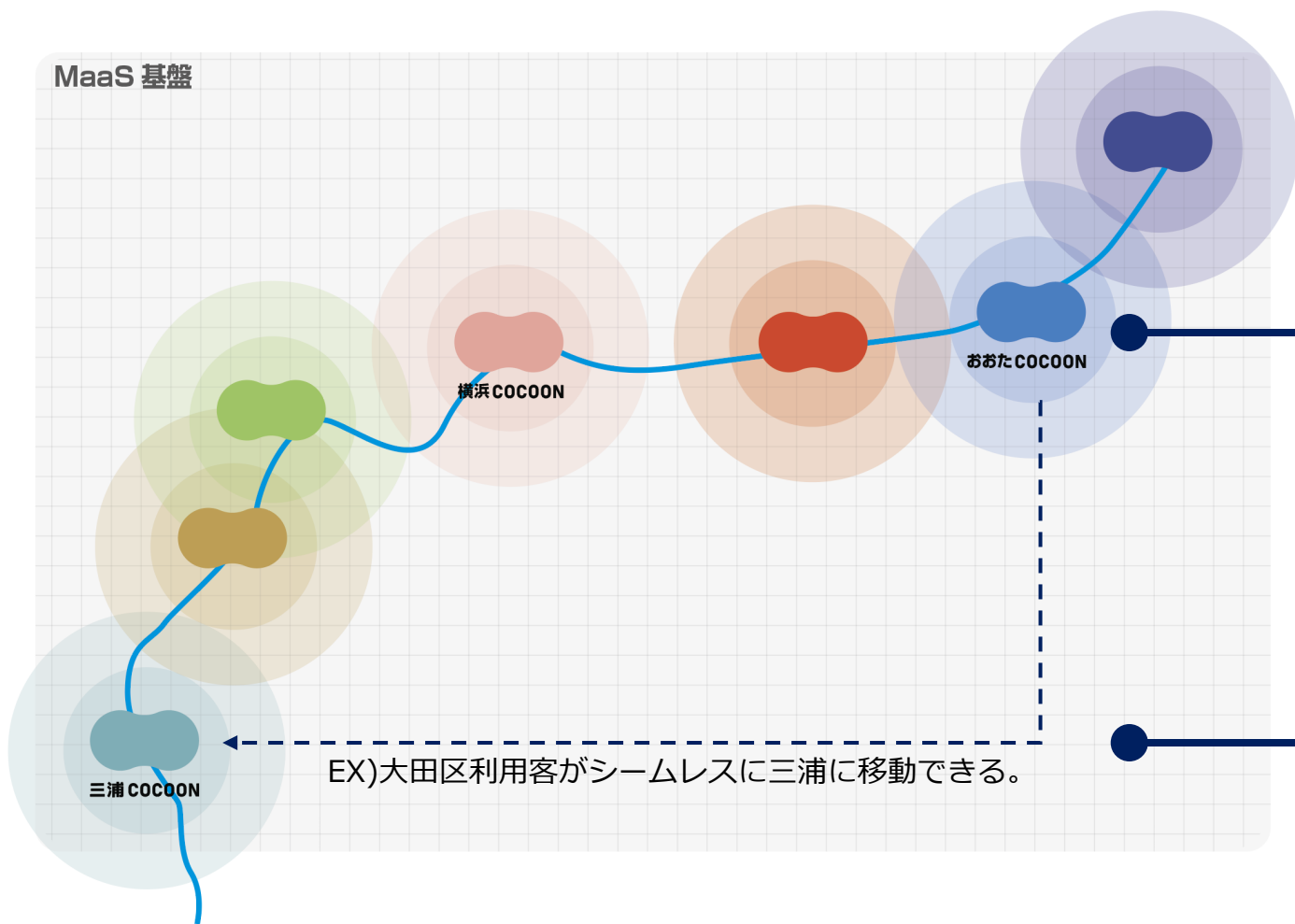
本プロジェクトでは、こうした地域連携の仕組みを沿線全体に拡大することで、地域特性に応じたまちの魅力向上に取り組むとともに、エリア間を自由に移動し、自分らしく生活できる沿線を目指します。

本プロジェクトの取り組み第1弾として、2022年8月26日（金）に、平和島駅前において地域交流拠点「COCOONひろば平和島（以下 本施設）」を期間限定で設置するとともに、地域情報/MaaSサイト「おおたCOCOON」を開設します。

本施設は、京急電鉄、東京都大田区（区長：松原 忠義）、日本工学院専門学校（所在地：東京都大田区，校長：千葉 茂）、株式会社シンクロ・フード（本社：東京都渋谷区，社長：藤代 真一）が産官学連携し約1年間運営する交流拠点で、フードトラック、シェアスペース/オフィス、モビリティステーション、地域イベントスペースなどを運営します。同時に、地域情報/MaaSサイト「おおたCOCOON」を通じた地域情報発信やシェアスペース予約など、OMO（Online Merges with Offline）の手法を用いたエ

2つのレイヤーから進めるエリアマネジメント（①ローカライズ、②共通基盤整備）

「多極型まちづくり」時代における京急沿線エリアマネジメントは、
「①ローカライズ」と「②共通基盤整備」
の2つのレイヤーに分けて整備することで、リアルとデジタルが融合した新しいまちづくりを実現させる。



「ローカライズ」レイヤー

エリアごとの活動/リアル施策

- 地域課題の解決に向けたエリアマネジメントをローカルに推進する。
- エリアごとの特性に合わせ、その地域のプレイヤーと共同で進める。
- 中核拠点を中心とした生活圏の充実を目指す。

リアルとデジタルの融合

「共通基盤整備」レイヤー

沿線共通化の活動/デジタル施策

- **MaaS, モビリティ基盤の共通化**を進めることで、生活圏内や中核拠点間の移動需要を創出する。
- 地域共通の予約決済基盤を通じ、自社だけでなく地域他者の拠点やモビリティも一元化する。

Part 1 . 京急沿線エリアマネジメント構想「COCOONプロジェクト」

Part 2 . (事例) 三浦半島エリアマネジメント「三浦COCOON」

Part 3 . MaaS高度化を目指す「新しい京急沿線まちづくり」

三浦COCOONの原点となる考え方

「つなぐ」と「続ける」

- 地域に新しいコトを起こすのは大変…
- おもしろい取り組みは、既に皆それぞれやっている。



既にあるものを

「つなげて」「続けていく」だけで、**新しい価値**が生まれる。

4つのアクションを連携させエリアマネジメントを推進

三浦半島エリアマネジメント

① エリアマネジメント組織化

COCOONファミリー（157団体）

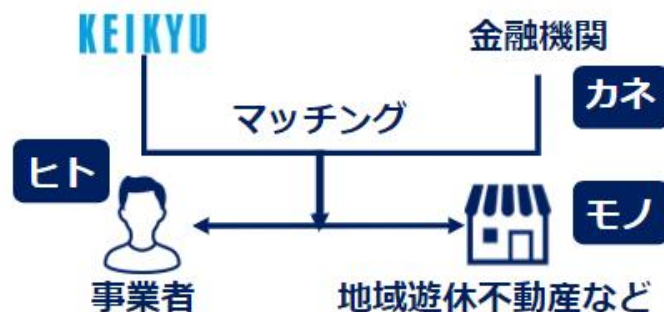


新規事業へ
チャレンジ



② 地域事業化支援による拠点整備

金融機関とのパートナーシップ



魅力ある拠点づくり

MaaSとモビリティが拠点や事業の価値を上げる

③ MaaS基盤整備

MaaS「三浦COCOON」

三浦半島の移動/観光プラットフォーム

- ◆ アクティビティ予約
- ◆ オンライン決済
- ◆ デジタルチケット
- ◆ マルチモーダル経路検索



モビリティを
MaaSでつなぐ

④ モビリティ基盤整備

COCOONモビリティパッケージ



事業者共同でモビリティ拠点開発

拠点の価値を
上げる基盤整備

4つのアクション ①エリアマネジメント組織化

三浦半島エリアマネジメント

① エリアマネジメント組織化

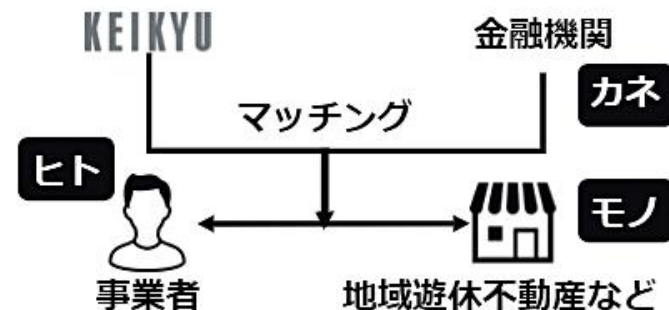
COCOONファミリー (157団体)



新規事業へ
チャレンジ

② 地域事業化支援による拠点整備

金融機関とのパートナーシップ



魅力ある拠点づくり

MaaSとモビリティが拠点や事業の価値を上げる

③ MaaS基盤整備

MaaS「三浦COCOON」

三浦半島の移動/観光プラットフォーム

- ◆ アクティビティ予約
- ◆ オンライン決済
- ◆ デジタルチケット
- ◆ マルチモーダル経路検索



④ モビリティ基盤整備

COCOONモビリティパッケージ



事業者共同でモビリティ拠点開発

拠点の価値を
上げる基盤整備

モビリティを
MaaSでつなぐ

三浦半島で活動する157団体をエリアマネジメント組織化

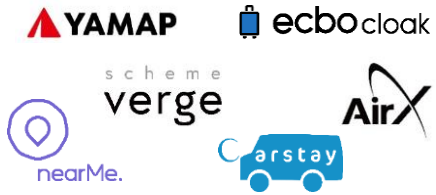
自治体/観光協会



大学/教育機関



スタートアップ



京急グループ



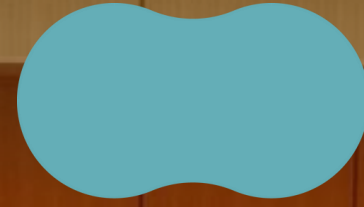
サポート企業



地域事業者



【事例】 COCOONファミリーMeetup!

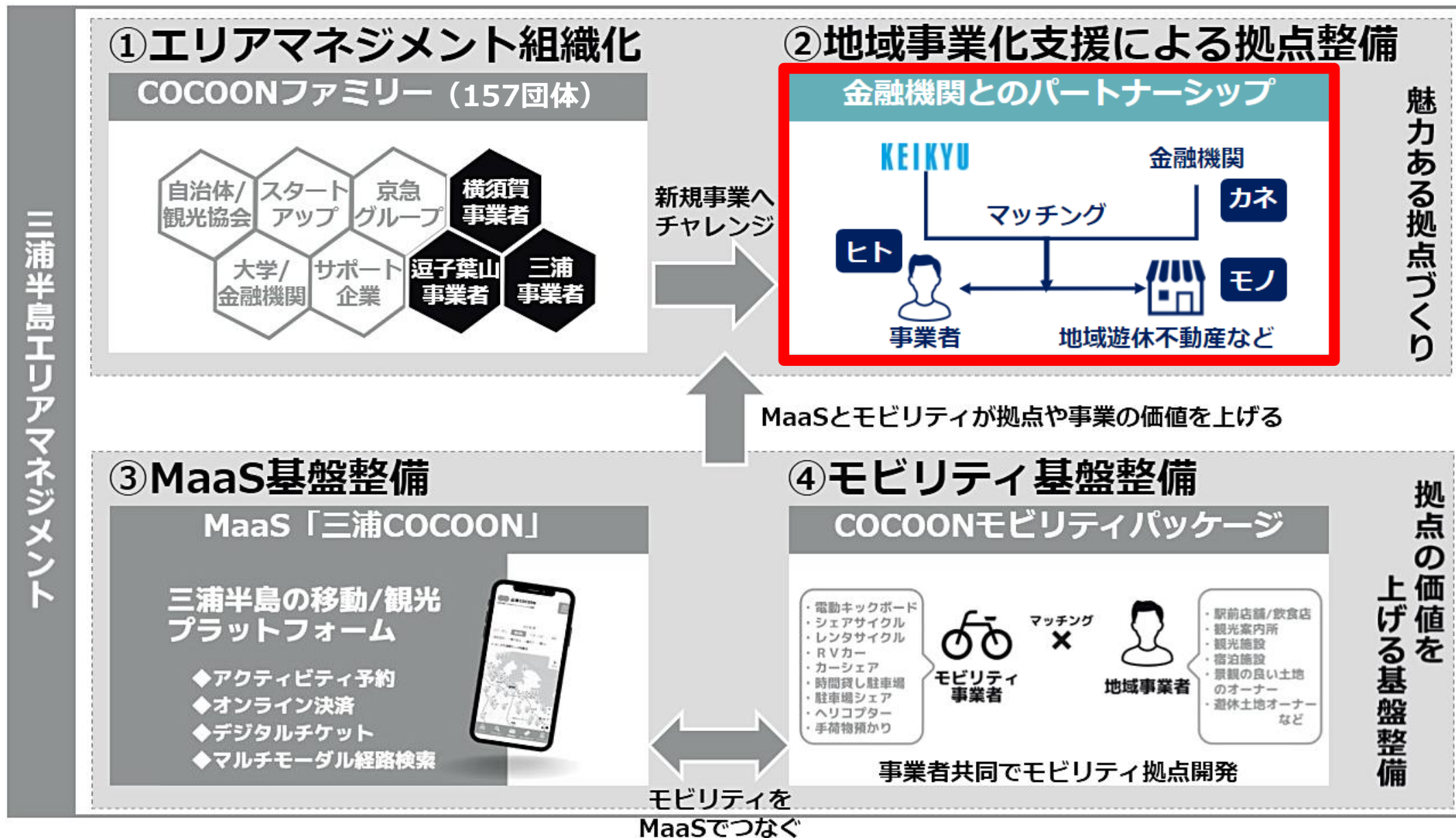


三浦 COCOON

みんなで三浦半島を盛り上げたい！



4つのアクション ②地域事業化支援による拠点整備



事業者と有休資産をマッチングすることで拠点整備

地域にスモールビジネスを創出

- ・ ヒト（三浦半島で事業をしたい人）とモノ（展開可能な土地/物件）をマッチング

ハンズオンにより事業化支援

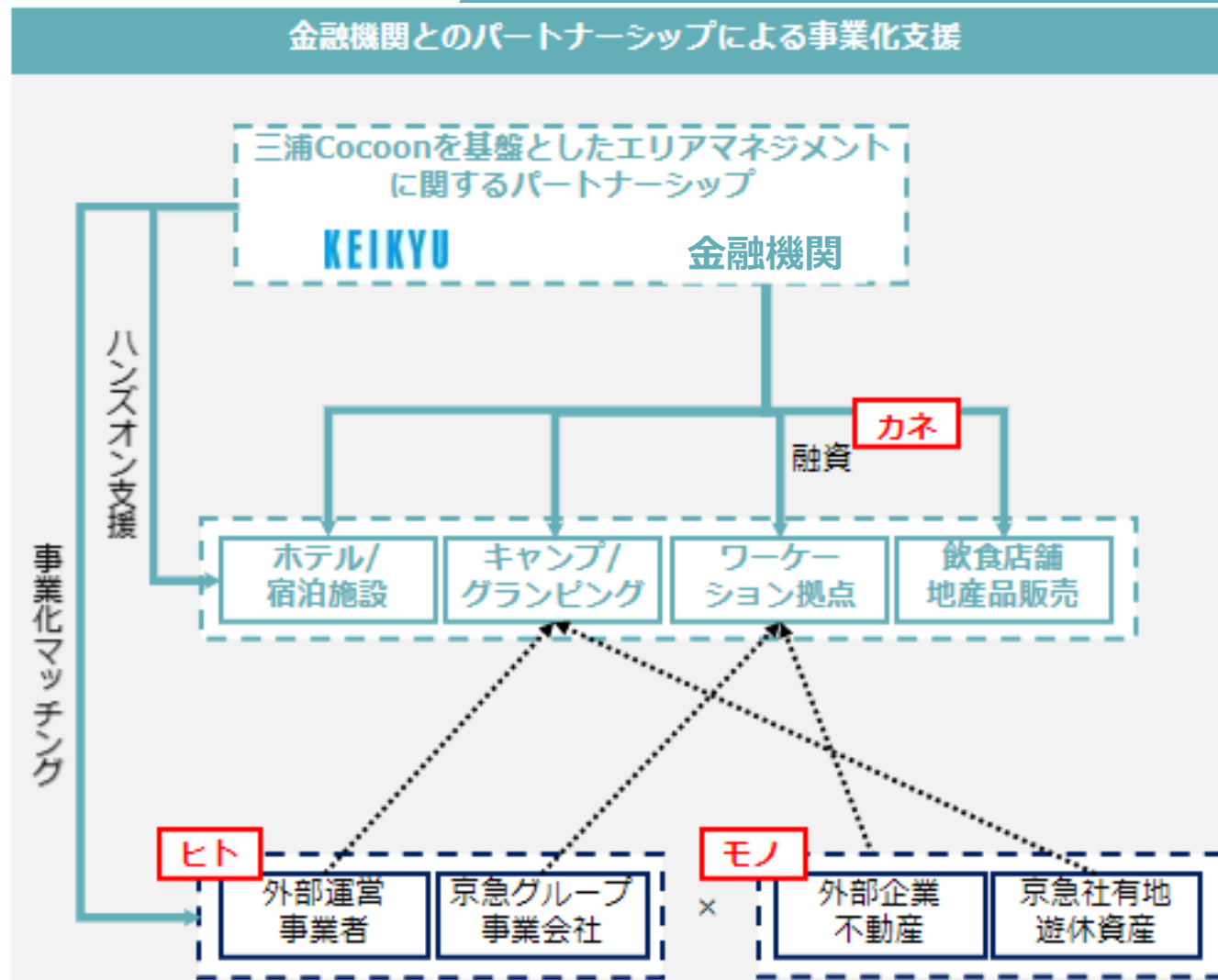
- ・ 京急は、事業モデル化フォロー、行政協議支援、MaaS連携などにより事業化を支援

地域全体で魅力的な拠点増加

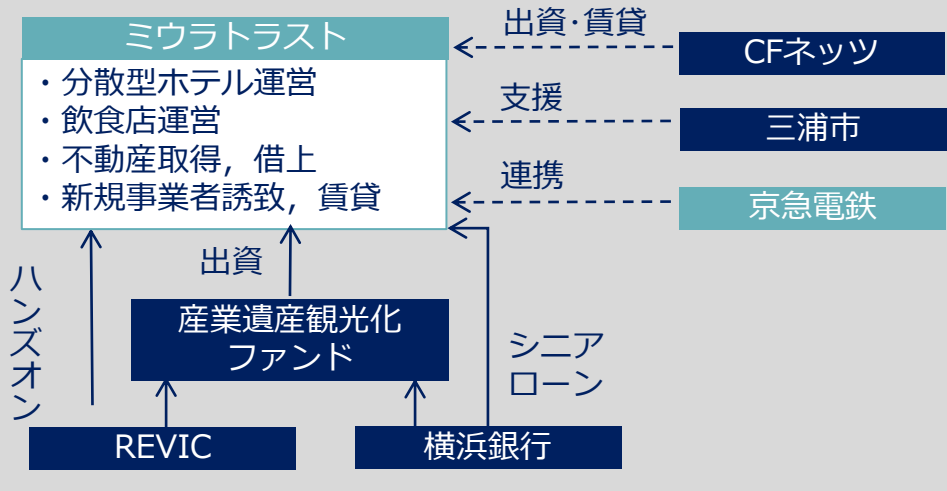
- ・ 三浦半島にスモールビジネスが生まれ、滞在したい拠点が增加する。

自然と人が集まるエリアへ

- ・ 自然発生的に拠点が増加し、人が集まるエリアへ発展する。



【拠点づくり】古民家を活用したホテル事業

当社の役割	<p>【事業化支援】 事業計画策定，サービスの高付加価値化などの支援</p> <p>【三浦COCOON連携】 MaaS，モビリティによるサービス一元化 アクティビティ共同開発</p>
事業主体	ミウラトラスト(株)
事業モデル	 <p>The diagram shows the business model for Miura Trust. At the top is 'Miura Trust' with activities: '分散型ホテル運営', '飲食店運営', '不動産取得, 借上', and '新規事業者誘致, 賃貸'. It receives '出資・賃貸' from 'CFネット', '支援' from '三浦市', and '連携' from '京急電鉄'. Below it is the '産業遺産観光化ファンド' which receives '出資' from 'REVIC' and '横浜銀行', and 'シニアローン' from '横浜銀行'. 'REVIC' also receives 'ハンスオン'.</p>
事業拠点	【三浦市】三崎下町エリア
ターゲット	高価格帯の宿泊と食事にお金を掛けられるカップル/夫婦/グループ層
開業時期	2022年4月開業

■三崎下町周辺マップ

三崎宿「本陣」 (5室)



割烹を改装，
寿司懐石料理を提供
(準備中)

三崎宿「酒宿山田屋」 (1室)



歴史的酒店
を宿に改装，
キッチン付
で調理も可能



Map showing the location of the properties in Sanjima, including the '三崎港' (Sanjima Port) and '三崎漁港' (Sanjima Fishing Port). Red lines connect the map to the photos of the properties.

三崎宿「江戸の蔵宿」 (1棟貸)



元三浦市長の
邸宅を改装，
中庭付蔵造りの
建物を贅沢
に1棟貸し

三崎宿「古民家の旅宿」 (1棟貸)



金物店建物を
改装，入口土間
でのオープンエ
アの食事も



「三崎宿」ロゴ



古民家を改装



酒宿山田屋 (共通帳場)

4つのアクション ③MaaS基盤整備

三浦半島エリアマネジメント

① エリアマネジメント組織化

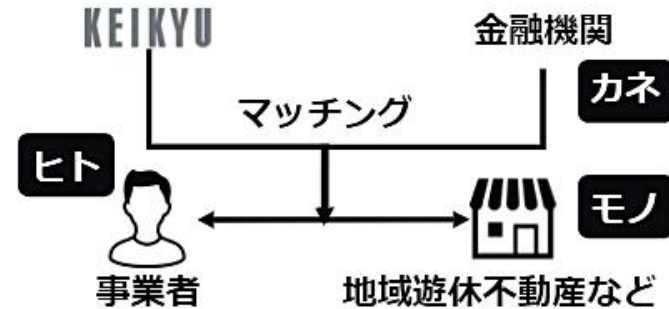
COCOONファミリー (157団体)



新規事業へチャレンジ

② 地域事業化支援による拠点整備

金融機関とのパートナーシップ



魅力ある拠点づくり

MaaSとモビリティが拠点や事業の価値を上げる

③ MaaS基盤整備

MaaS「三浦COCOON」

三浦半島の移動/観光プラットフォーム

- ◆ アクティビティ予約
- ◆ オンライン決済
- ◆ デジタルチケット
- ◆ マルチモーダル経路検索



④ モビリティ基盤整備

COCOONモビリティパッケージ



事業者共同でモビリティ拠点開発

拠点の価値を上げる基盤整備

モビリティをMaaSでつなぐ

三浦半島の移動/観光プラットフォーム

MaaS 「三浦COCOON」

三浦半島の観光事業者が共通で使える
予約決済基盤を提供



「おトクなきっぷ」も 三浦COCOONで デジタル化



2022年4月
デジタル化

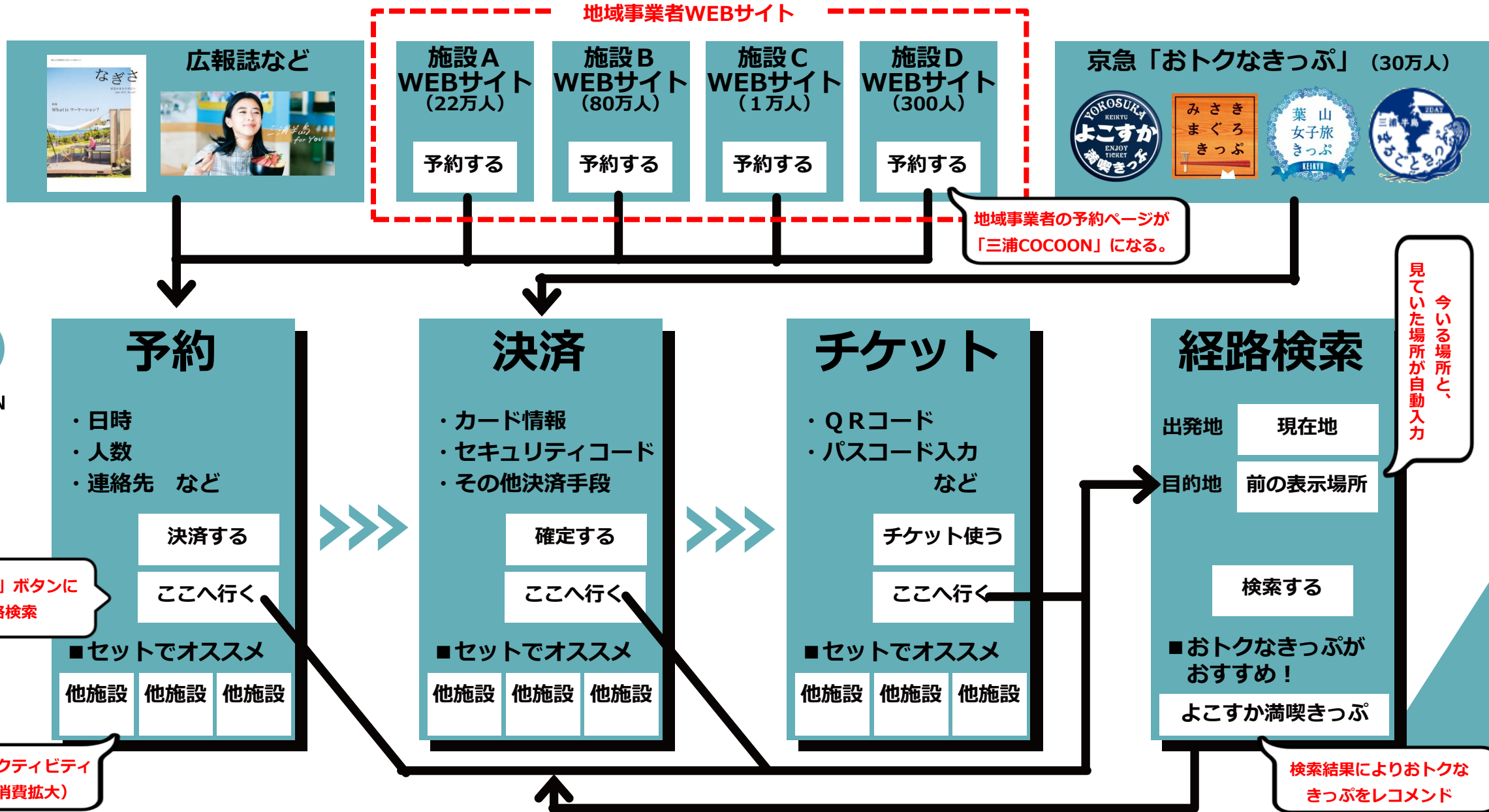
平均デジタル化率
約40%



2022年7月
デジタル化



顧客一元化による「相互集客」と「相互レコメンド」



三浦半島地域全体でカーボンニュートラルへ取り組む

令和4年度

日本版MaaS推進・支援事業



- 経路検索結果に自動車での移動と比較した公共交通利用時のCO₂排出削減量を表示
- 行動経済学における「ナッジ理論」に基づき、観光客の行動変容・公共交通の利用を促すことで、「三浦半島地域圏」でのサステナブルツーリズムを推進

このルートのCo2排出量：1839g
車だけの移動より97.7%のCo2が削減できます

地域で取り組む脱炭素「CO₂を減らそう。思い出を増やそう。」



おいでよ!三浦半島!

COCOONファミリー約100名が集結し
ポスター制作に向けてワークショップを行いました!



案内にあるこちらのポスターはCOCOONファミリーのアイデアを取り入れ作成しました。



「デジタルきっぷで行く おトク×サステナブルツーリズムキャンペーン」
【2022年12月2日(金)～12月30日(金)】

- ・トレインジャック列車「三浦COCOON号」の運行
グリーン電力証書を活用し、CO₂排出量実質ゼロで運行
「COCOONファミリーMeetup!」で作成したポスターを掲出



<グリーンパワーマーク>

東京湾に浮かぶ貴重な宝物の未来を見つめるプロジェクト
株式会社トライアングル

環境にやさしい乗り物を使用した観光コース提供で脱炭素へ貢献
株式会社アイシン

究極のエコモビリティ!馬と一緒にカーボンニュートラルの旅へ!
ホーストレッキングファーム三浦海岸

エコモビリティSUPで自然豊かな三浦の海のWellnessツアー
KOAJIRO SUP Tours (合同会社チャートテーブル)

SDGsの考え方をもとに「環境×観光×学び」の連携を目指すプロジェクト「つづみんどの環島プロジェクト」を行っています。子どもから大人まで、みなさんに環島を知っていただき、楽しみながら環境のことを考える機会を提供していきます。

三浦COCOON 自然豊かな三浦半島を未来へつなぐ。

地元の人に案内されているような観光体験のできるアプリ「SmartBuddy」で、三浦半島を観光するさまざまなコースを提供しています。レンタルサイクルや電動キックボードなど、環境にやさしい乗り物で三浦半島を観光しませんか?

三浦COCOON 自然豊かな三浦半島を未来へつなぐ。

日頃のお疲れを吹き飛ばしたいとき、何をなさいますか? せっかくなら、あたたかい馬臭以外の温室効果ガスは排出しない馬運の心遣いゆれに身を任せながら、美しい三浦の海と三浦海岸をのんびりお散歩して、未来の地球についてちょびり考えてみませんか?

三浦COCOON 自然豊かな三浦半島を未来へつなぐ。

KOAJIRO SUP Toursでは、小網代湾のシーレットビーチで暮らす三浦海岸から、小網代湾や油壺を再遊するSUPのツアーやスクールを行っています。陸地からは見ることのできない視点で小網代エリアの自然の素晴らしさを体感しませんか? また、年間を通して海岸を使い続けることで、クランや安全なビーチの環境保全にもつながっております。

三浦COCOON 自然豊かな三浦半島を未来へつなぐ。

環境にやさしい電動モビリティで三浦半島の魅力を再発見!
株式会社サンオータス

毎月第3日曜日朝9時より一色海岸のビーチクリーンを実施
一色BASE・一色BOAT (サインランゲージ株式会社)

返子ビーチ・クリーン隊
OCEANS.CLUB (株式会社OCプロジェクト)

蜜蜂たちがもたらす持続可能な果樹園
ファーマシーガーデン浦賀

空気をくらくらのスポーツ電動自転車「SEA-Bike」、実中でのポートを置く電動キックボード「SEA-Board」はゆったりとした観光に最適!山と海に囲まれた三浦半島の豊かな絶景や歴史・文化の息どころを「SEA-Bike」と「SEA-Board」でエコに楽しみましょう!

三浦COCOON 自然豊かな三浦半島を未来へつなぐ。

毎月第3日曜日朝9時より一色海岸のビーチクリーンを実施!お客さまだけでなく町内会、海岸組合と共同で一色海岸のビーチクリーンを実施しています。一色BASEでは、サステナブルな海の環境保全に関するアートの展示会などを開催!また海や山の環境保全をテーマにしたフリーペーパーへ協賛するなど、常に環境保全に関する取り組みを行っています。

三浦COCOON 自然豊かな三浦半島を未来へつなぐ。

毎月第1日曜日に返子海岸のビーチクリーンを行っています。ご家族やご近所の方と一緒に合わせて参加してください!小学生の参加も大歓迎です!また、クニの蜜蜂など返子湾の蜜蜂隊への対策も行ってあります。

三浦COCOON 自然豊かな三浦半島を未来へつなぐ。

ファーマシーガーデン浦賀では持続可能な農業とSDGsの取り組みとして蜂の養育を中心に考えています。なぜなら、蜂が「花粉の媒介」を通して作物を授け、自然界の生態系を成り立たせているからです。そのため、農業は一切使っていない。自然な栽培「環境配慮農業」を行っています。蜜蜂たちがもたらす持続可能な果樹園にぜひお越しください!

三浦COCOON 自然豊かな三浦半島を未来へつなぐ。

4つのアクション ④モビリティ基盤整備

三浦半島エリアマネジメント

① エリアマネジメント組織化

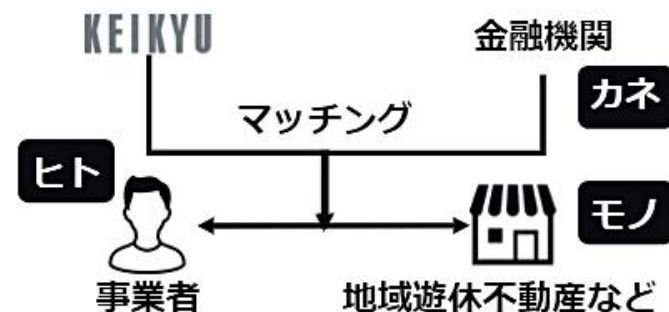
COCOONファミリー (157団体)



新規事業へ
チャレンジ

② 地域事業化支援による拠点整備

金融機関とのパートナーシップ



魅力ある拠点づくり

MaaSとモビリティが拠点や事業の価値を上げる

③ MaaS基盤整備

MaaS「三浦COCOON」

三浦半島の移動/観光プラットフォーム

- ◆ アクティビティ予約
- ◆ オンライン決済
- ◆ デジタルチケット
- ◆ マルチモーダル経路検索



④ モビリティ基盤整備

COCOONモビリティパッケージ



事業者共同でモビリティ拠点開発

拠点の価値を
上げる基盤整備

モビリティを
MaaSでつなぐ

郊外の課題

- 駅からの2次交通が少なくマイカー中心
- 慢性的な交通渋滞、夏季繁忙期はさらに集中
- 魅力的な場所があっても、アクセスが悪い



COCOON モビリティパッケージ



×
マッチング



草の根的な拠点共同開発により、
三浦半島はモビリティ先進地域へ



01

akippa(株)
【駐車場シェアリング】



02

(株)AirX
【ヘリポート】



03

ecbo(株)
【荷物預り】



04

Carstay(株)
【車中泊スポット】
【キャンピングカーシェア】



05

(株)サンオータス
【電動キックボードシェア】



06

シナネンモビリティPLUS(株)
【シェアサイクル/ダイチャリ】



07

タイムズ24(株)
【時間貸し駐車場】

タイムズでカーシェア

<p>¥1030 ×MONTH</p> <p>個人プラン・家族プランの組合、毎月1,030円分の無料利用料金付き!</p>	<p>km Free</p> <p>距離料金 0円</p>	<p>15分206円~</p> <p>ガンリ込・保険料込 料金は使った時間だけ</p>
<p>365 days 24h</p> <p>24時間 365日 いつでも利用可能</p>	<p>全国 10,000カ所!</p> <p>すぐ乗れる! 近くにある! ・ステーション検索</p>	<p>パソコン スマートフォン で予約</p> <p>1min 予約1分前まで 無料キャンセルOK!</p>

08

タイムズモビリティ(株)
【カーシェア】



09

みうらレンタサイクル運営協議会
【レンタサイクル】

三浦半島の新しいレンタルモビリティ

my-mo
ミューモ

三浦半島ぶらり旅の新定番、誕生♪

山道も海岸線も細い小径も、1人乗り超小型の電気自動車です〜イスイ。あなただけが出会える景色を見つけよう!

10

三浦観光バス/丸石自動車・ミウラトラスト・湘南菱油【BEVカーシェア/my-mo】



マルチモーダルな 検索機能を提供

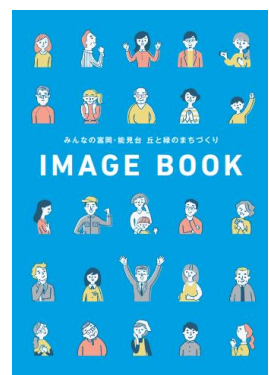
COCOONモビリティパッケージで整備した
拠点を含め、様々な2次交通をマルチモーダル
に検索可能

Part 1 . 京急沿線エリアマネジメント構想「COCOONプロジェクト」

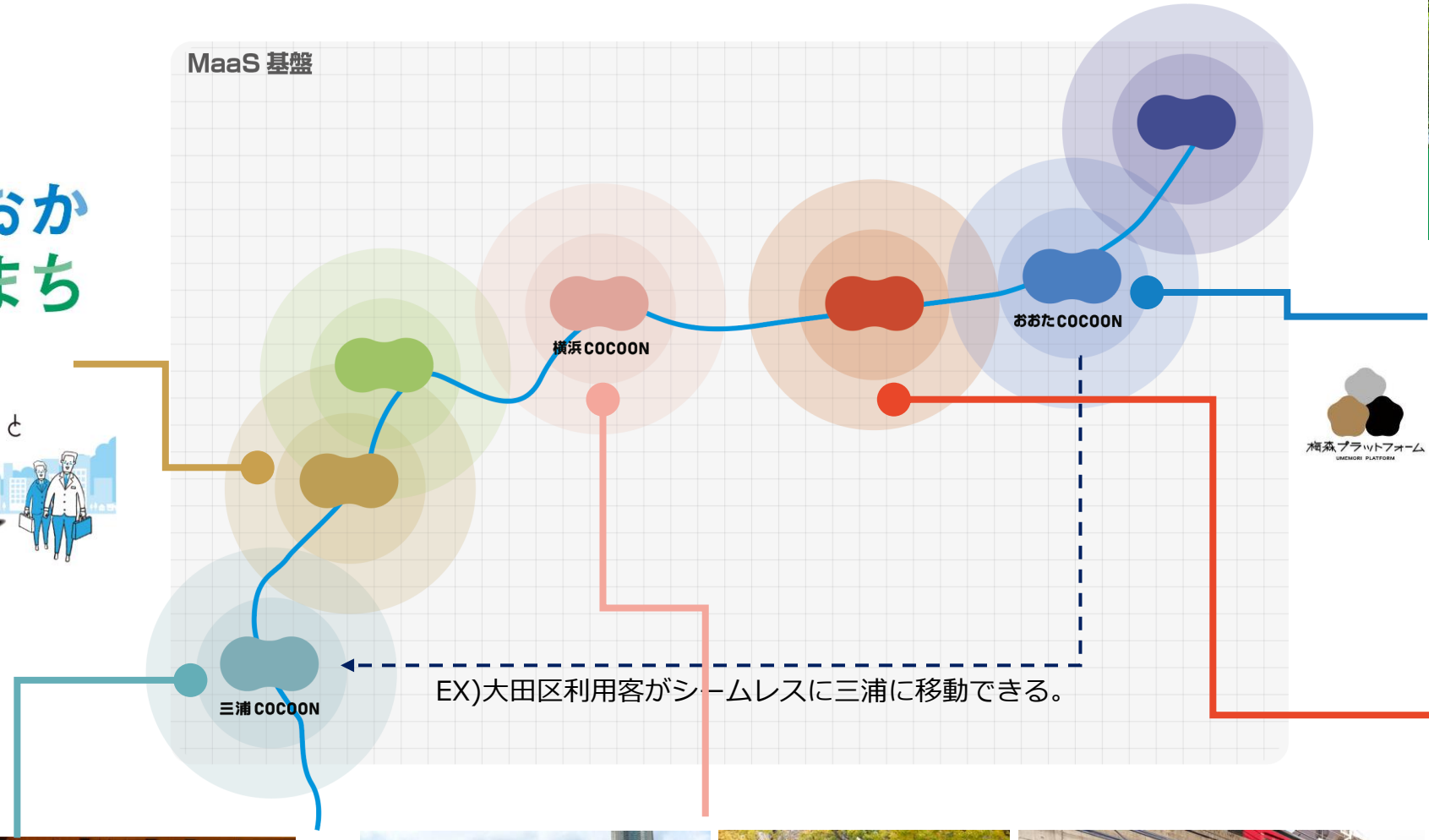
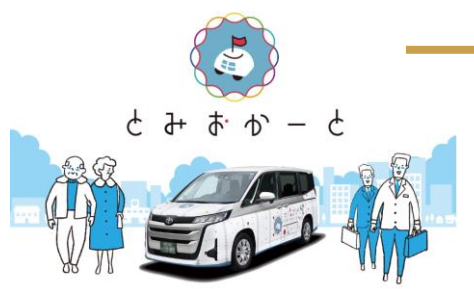
Part 2 . (事例) 三浦半島エリアマネジメント「三浦COCOON」

Part 3 . MaaS高度化を目指す「新しい京急沿線まちづくり」

沿線各エリアに拡大するエリアマネジメント（各エリアCOCOON）



おか
まち



MaaS整備を通じた沿線サービスの拡充

京急MaaS「COCOON」の整備状況

- ① **常設サービス**としてMaaSレベル3まで一部実装済み
(実証実験ではなく、実際に利用可能なサービスを展開)
- ② 「移動」だけでなく「**地域サービス**」とも一元化
(乗車券購入に加え、滞在拠点の予約手配も可能)
- ③ さらに、自社サービスだけでなく、**地域事業者のサービス**とも一元化 (地域事業者のモビリティ、アクティビティの予約手配も可能)

■ COCOONの機能をさらに強化する (MaaSレベルを高める) ことで、沿線サービスを拡充する。



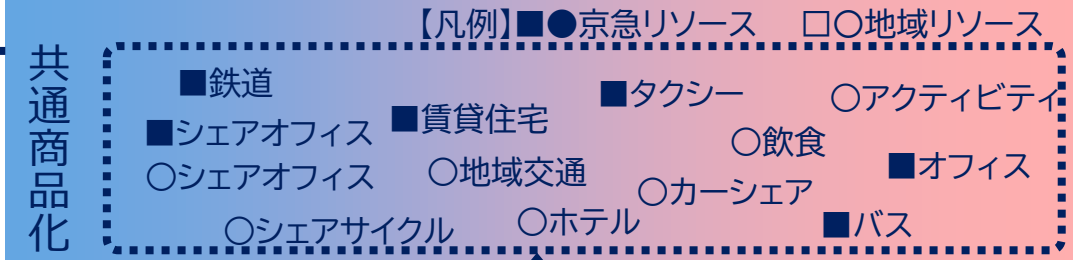
【MaaSレベル4 (社会目標の統合)】

蓄積するデータを活用し、自社や地域のサービス自体を改善し続けることで地域課題を解決する。

- ・ 繁閑に応じた料金体系の導入
- ・ 混雑情報、予測配信を通じた需要分散、混雑対策
- ・ ダイヤなど運行の見直し、改善
- ・ 自治体の政策への反映

【MaaSレベル3 (提供するサービスの統合)】

おトクなきっぷデジタル化により環境が整う。今後、さらなるパッケージ化やサブスク化を目指す。



【MaaSレベル2 (予約/決済の統合)】

COCOONでは「自社移動以外」の統合も実現済み、今後さらにその対象を拡大していく。

一元化 予約決済

	移動	地域サービス
京急	鉄道, バス, タクシー	住宅, 商業, ホテル, シェアオフィス, レジャーなど
地域他者	シェアサイクル, シェアカー, 電動キックボードなど	住宅, 商業, ホテル, シェアオフィス, レジャーなど

データ連携・利活用による サービスへのフィードバック

【混雑可視化】

- ・飲食店など可視化
- ・ビーコン/人感センサー

【API連携】

- ・シェアモビリティ
- ・シェアオフィス など

【宿泊予約】

- ・サイトコントローラー連携
- ・在庫一元化

【既存顧客データ連携】

- ・京急ポイント
- ・ICカード (PASMO)

【需要予測】

- ・柔軟な営業時間設定
- ・要員計画への活用

【WEBサイトUI改善】

- ・導線や離脱状況分析
- ・UI改善による利用促進

【ダイナミックプライス】

- ・利用状況からプライシング
- ・時期に応じ価格を柔軟に設定

【サブスクサービス】

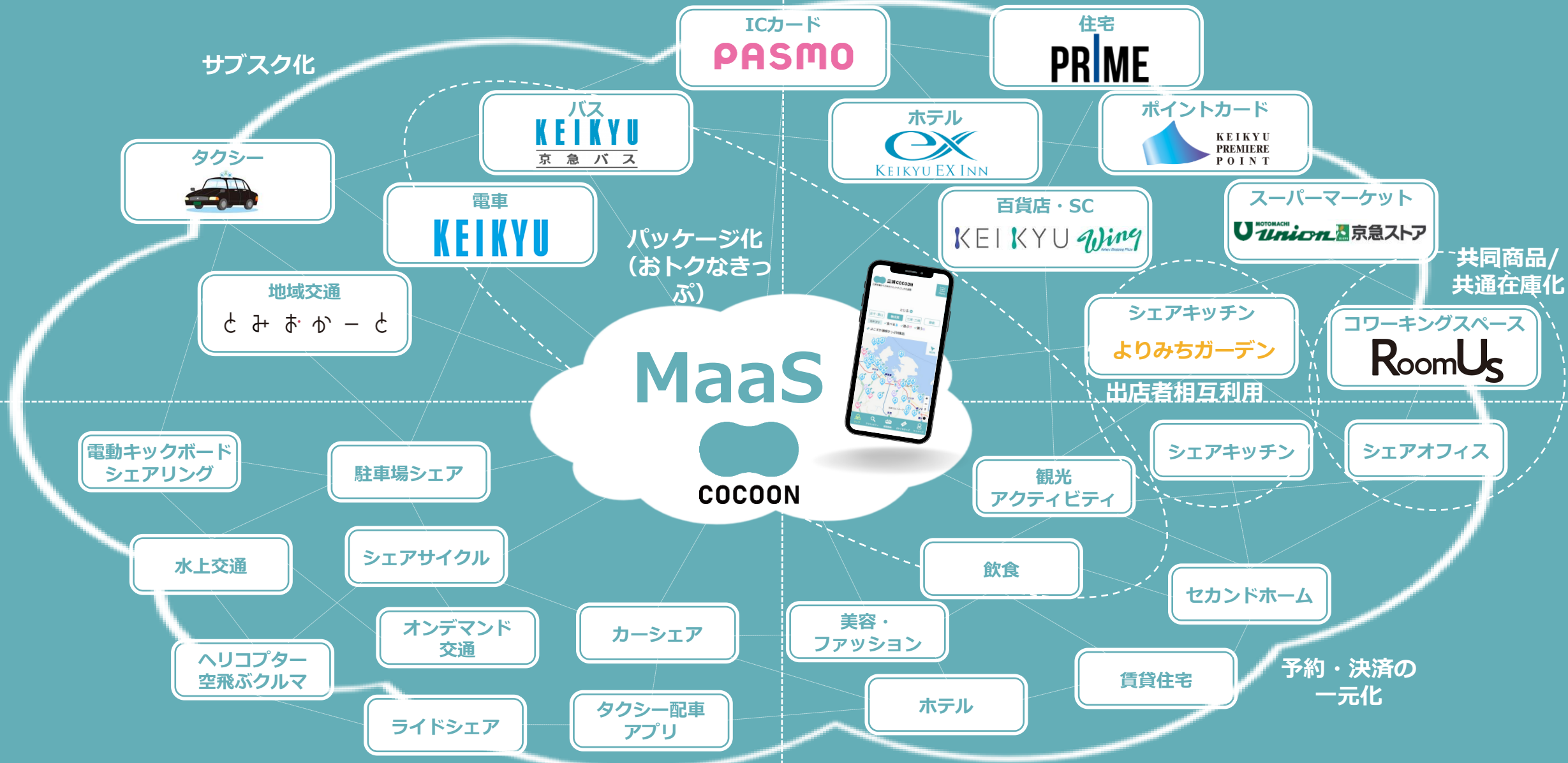
- ・地域一元化により魅力向上
- ・沿線顧客のLTV拡大

移動プラットフォーム

まち創造プラットフォーム

京急リソース

地域リソース

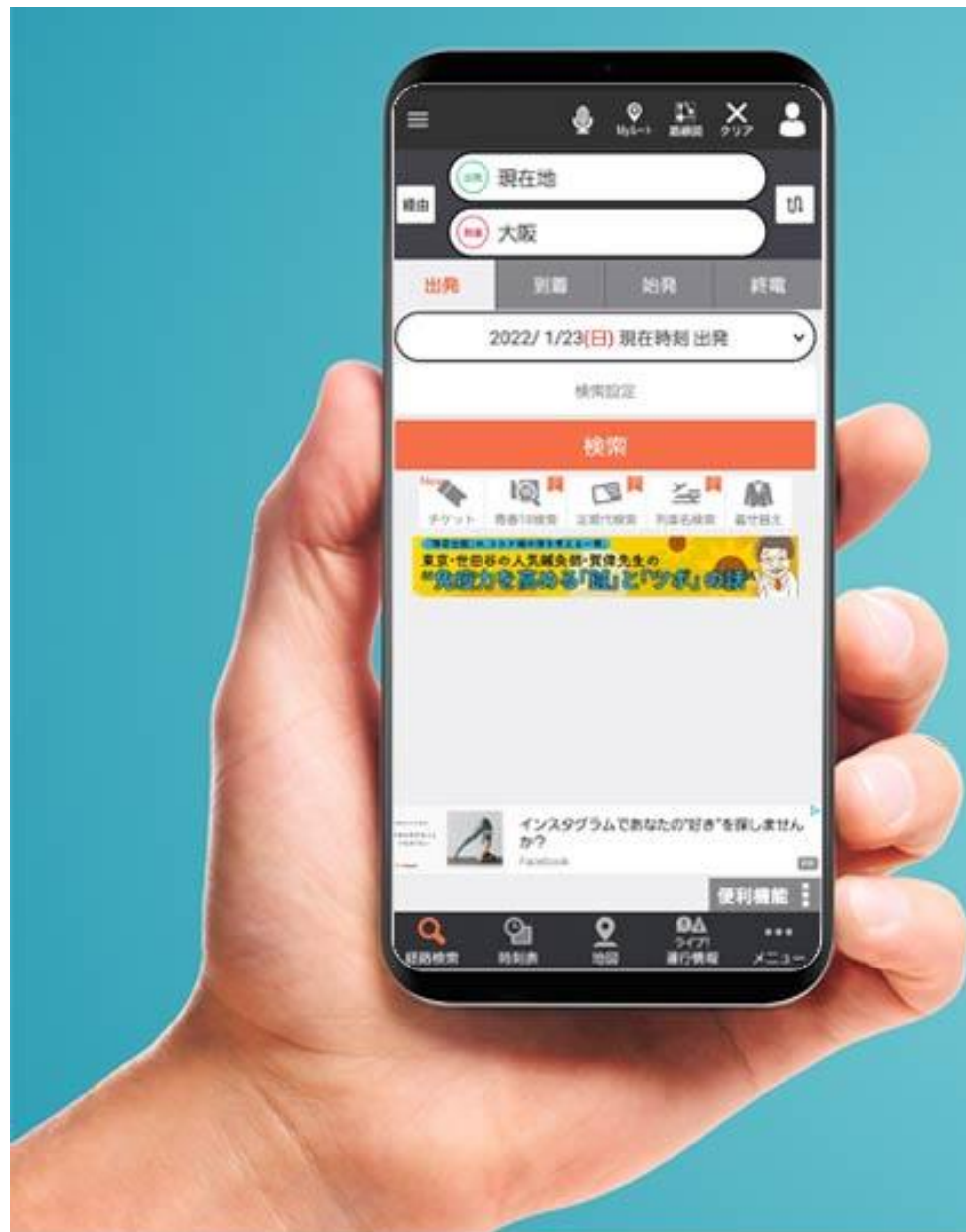




京急電鉄様沿線
エリアマネジメント
お取り組みのご紹介

ジョルダン株式会社

ジョルダン乗換案内について



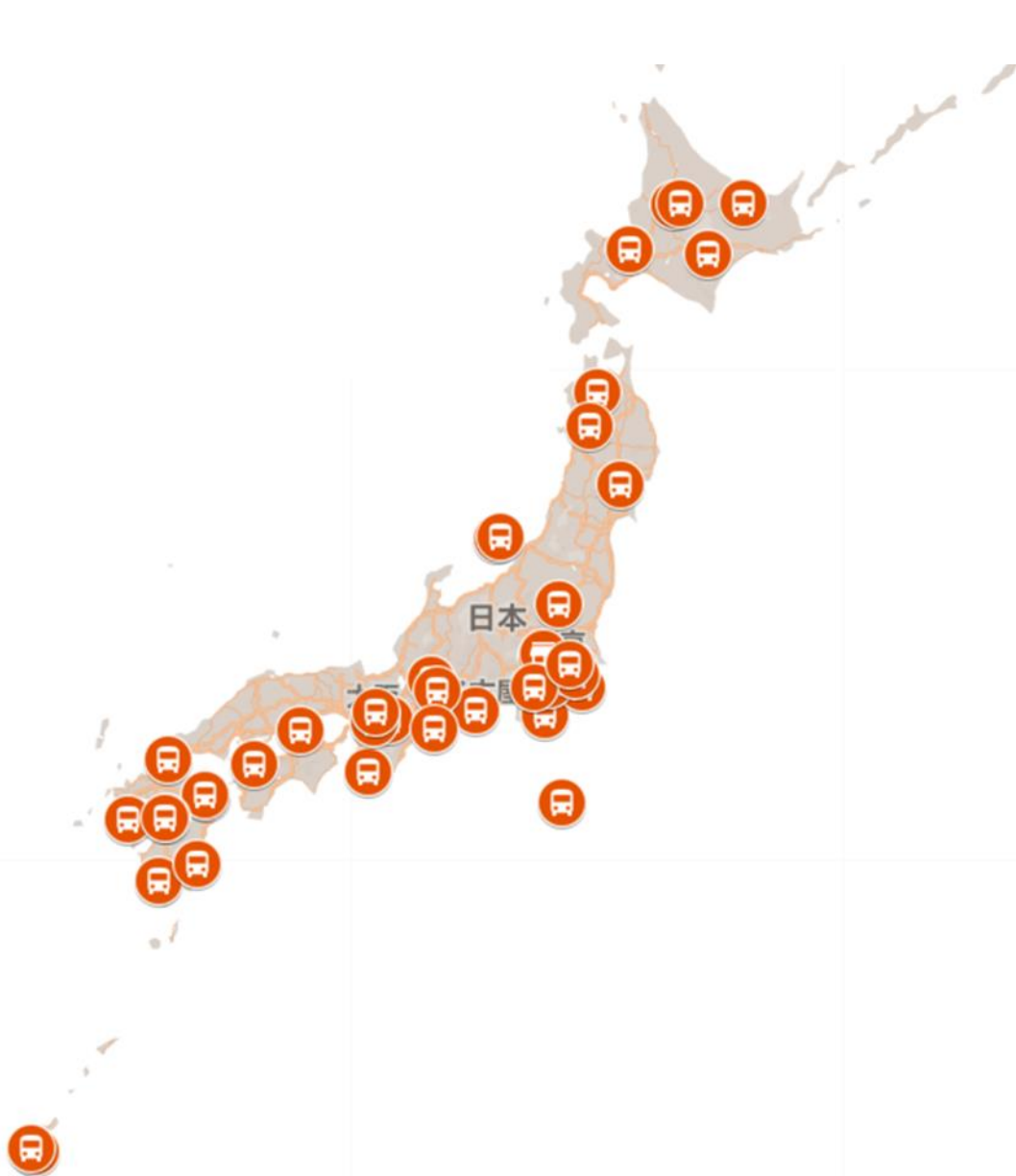
ジョルダン乗換案内

移動に提案を。

行きたい場所へ行ける。

チケットを使える。

全国281券種 65事業者様に導入の実績



エリアマネジメントを支える機能



京急電鉄様 リリース資料より
https://www.keikyu.co.jp/company/news/2021/20220118HP_21135AK.html

- MaaSサービス基盤の提供（デジタルチケット、経路検索、予約・決済）

コンテンツと機能

企画きっぷ紹介

地域情報

エリアを楽しめる
チケットやアクティビティ

MAP



デジタルチケット

予約在庫管理

マルチモーダル検索

会員管理

コンテンツ管理


デジタルチケット

6:36 stg.miuracocoon.com

三浦 COCOON
三浦半島からのあたらしいすごしかた提案

Menu

新しい日常の気晴らしに。魅力の多面体、横須賀。
きっぷ紹介



おうち時間に飽きたなら。リモートワークに疲れたなら。赤い電車で揺られていこう。遠出はしにくくても、ちょっと近場なら出かけやすい。いくつものトンネルを抜ければ、よこすか、ヨコスカ、YOKOSUKA。いろいろな顔を持つこの街は、一筋縄ではいかない。だから面白い。横須賀には、いろいろなおいしさがある。全国に知られたご当地グルメがある。旬の地魚、地野菜、地の食材を活かした美味にも出会う。横須賀には、いろいろな海がある。浦賀の海には黒船来航の歴史がある。観音崎の海には美しいリゾートがある。三笠公園の海には日本遺産が“停泊中”だ。横須賀には、いろいろな混じり合いがある。

購入する

マップ アクティビティ 経路検索 おトクなきっぷ Myページ

6:36 jticket-stg.jorudan.co.jp

1 ... 2 ... 3 ... 4

購入情報入力
商品内容

よこすか満喫きっぷ

京急線乗車券 京急バス1日乗車券 食べる券 遊ぶ券

優待施設

利用期間 22.07.01 ~ 22.09.30

出発駅

品川

同時に乗車する人数を選んでください

大人(¥3,330) 小児(¥2,690)

1名 0名


支払金額
¥ 3,330

支払い方法を選んでください

VISA Mastercard JCB 交通系ICカード Direct Link

ジョルダンチケットコード
JORUDAN TICKET CODE

6:37 stg.miuracocoon.com



よこすか満喫きっぷ

品川 ⇄ フリー区間
(追浜~堀ノ内
~浦賀・津久井浜)

みほん 大人 2

京急線乗車券

京急バス1日乗車券

食べる券

遊ぶ券

優待施設

ご利用期間: 2022-07-01~2022-09-30

- 本デジタル乗車券は、有効期限内の利用開始した(「チケットを使う」ボタンを押した)当日に限り有効です。
- 払戻しは、有効期限内・利用開始前(「チケットを使う」ボタンを押した)場合のみ可能です。

6:43 stg.miuracocoon.com

1回のみ使用可 有効期限 2022-07-01



MIKASA CAFE
よこすか海軍カレー

使用するチケットの枚数を選択してください。

大人 2 / 2

小児 0 / 0

チケットを表示

デジタルチケットのメリット

アプリDL不要、ブラウザベース

キャッシュレス、いつでも・どこでも

デザインの自由度UP

データ分析

葉山女子旅きっぷ
京急線乗車券

品川 ⇄ 逗子・葉山

有効期限 2022.04.

大人 2 小児 1

購入駅～逗子・葉山駅間
途中下車可。ただし逆戻りはできません。

みほん
10:39:54

チケット情報

※当日すべてのご旅行が終了した際はこち

1回のみ使用可 有効期限 2022-04-

みほん

一色BOAT
釣り体験 (90分まで)

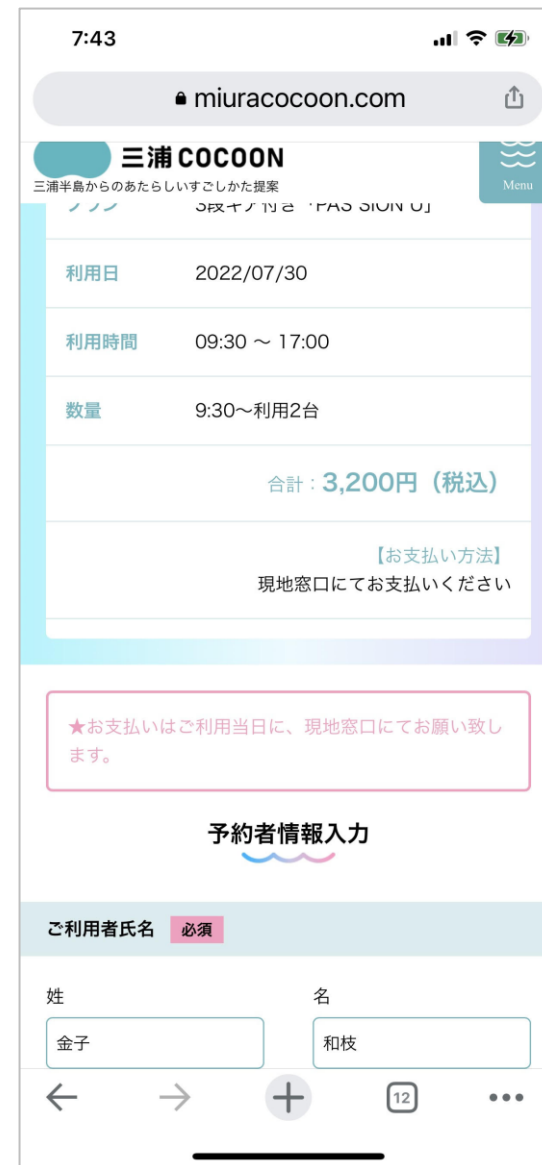
使用するチケットの枚数を選択してください。

大人 2 / 2
小児 1 / 1

マルチモーダル経路検索



予約在庫管理



導入後の成果

「都市近郊リゾートみうらの創生」実現に向け

MaaS基盤整備で企画乗車券のデジタルチケット利用率が40%を突破

エリアマネジメント組織「COCOONファミリー」も約2倍の134団体に

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区、社長：川俣 幸宏、以下 京急電鉄）が事務局を務める「COCOONファミリー」は、京急電鉄が2021年度5月に発表した中期経営計画で掲げる「都市近郊リゾートみうらの創生」に向け、三浦半島でのエリアマネジメント活動を推進しているなかで、このたび、企画乗車券のデジタルチケット利用率が約40%となるとともに、エリアマネジメント組織「COCOONファミリー」の参加団体数が130団体を突破しました。進捗につきましては以下をご覧ください。

三浦半島でのエリアマネジメントとして取り組む4つの活動の進捗について

MaaS基盤整備

- 企画乗車券のデジタルチケット利用率は、ゴールデンウィーク中に「よこすか満喫きっぷ」で38%、「葉山女子旅きっぷ」では41%となった
- デジタルチケットを事前購入できることから、夜間の購入が大幅に増加
- 観光型MaaS「三浦COCOON」WEBサイトの機能を拡大し共通の予約・決済サービス、マルチモーダル経路検索機能を実装、78万PVを獲得

エリアマネジメント組織化

- 2020年10月に地域事業者と共同でエリアマネジメント組織「COCOONファミリー」を結成
- 加盟団体は結成時の60団体から134団体（2022年6月29日現在）と、約2倍に

改札通過確認器

実施時期

2022年4月22日～ 現在

実施目的

葉山女子旅きっぷ、みさきまぐろきっぷの利用者の改札通過時の確認のため、3駅に改札通過確認器を設置。

提供サービス

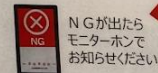
MaaS基盤／モバイルチケット（二次元コード）
管理画面（利用者データ、駅通過データ）
経路検索結果バナー



デジタル葉山女子旅きっぷ



OKが出たらバーを押して
そのままお通りください



NGが出たら
モニターホーンで
お知らせください



ここを
押して

この画面



QRコードを
かざしてください

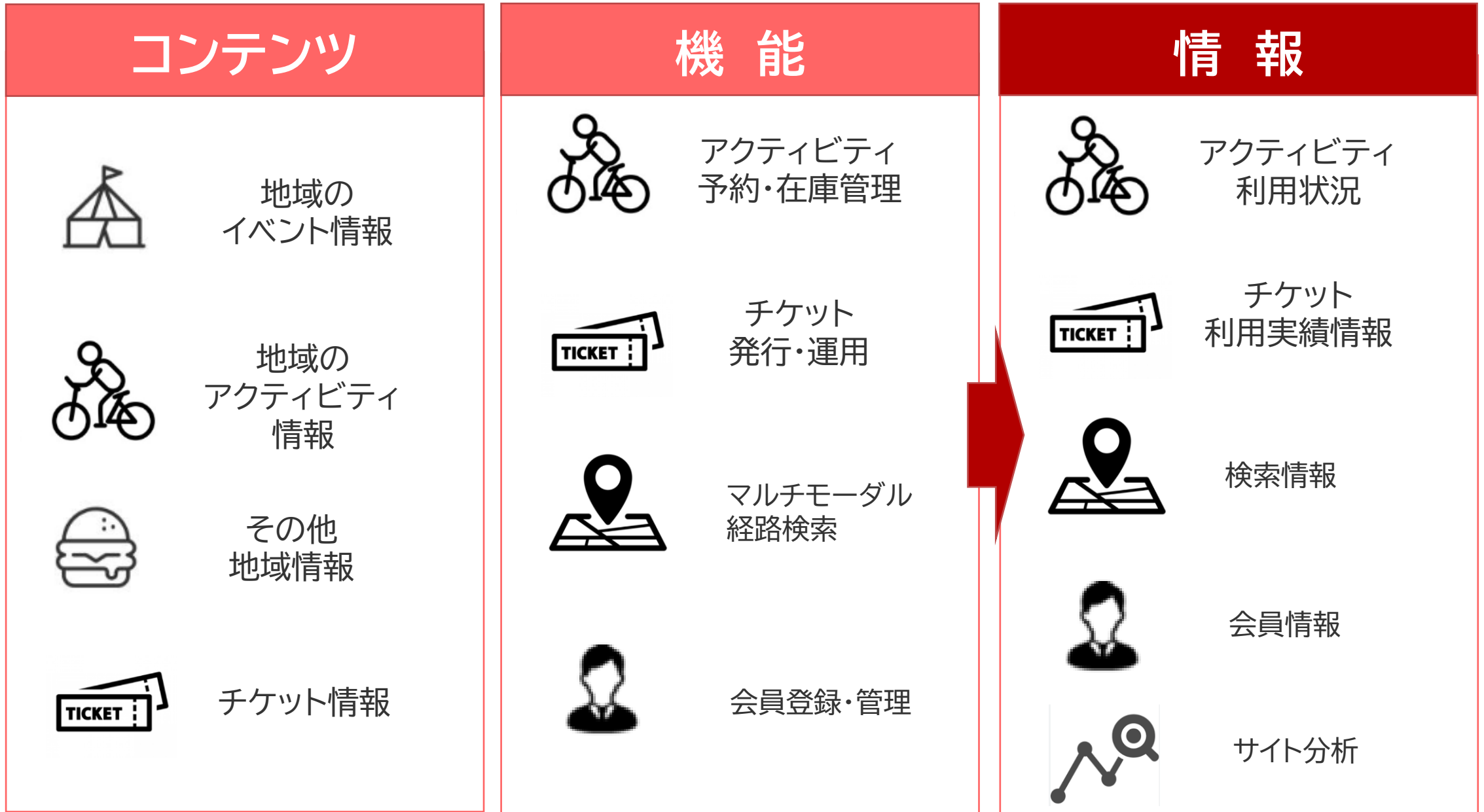


きっぷ・IC読取台

Ticket・IC Card Scanner

车票・交通卡读取器 / 티켓·IC카드 스캐너

エリアマネジメントを支える要素





COCOON

地域とつくるMaaSとモビリティ



- 神奈川県下のガソリンスタンド(SS)とレンタカー・輸入車ディーラーが事業の主力
- MaaSの今後の進展を踏まえ、電動バイクなどモビリティ事業を強化

カービジネス

売上高 5,522百万円
構成比 34.2%



エネルギー

売上高 9,999百万円
構成比 62.0%



売上高
16,139百万円
(2022/4期)

不動産

売上高 451百万円
構成比 2.8%



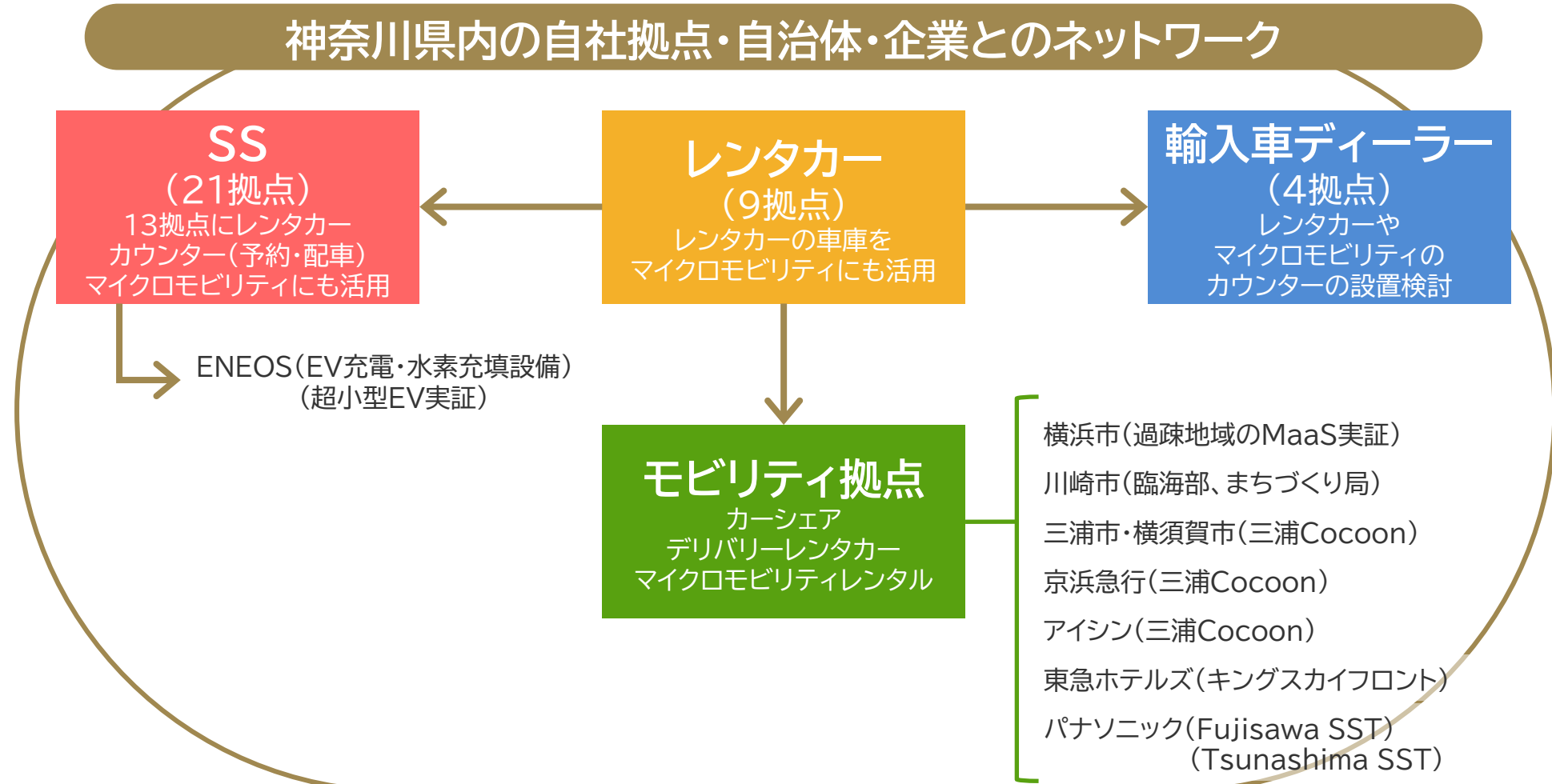
ライフサポート

売上高 166百万円
構成比 1.0%



(注) SS : Service Station、MaaS : Mobility as a Service

- 神奈川県内に34拠点、うちSS13拠点にはレンタカーカウンターも設置し、シナジー創出
- モビリティ事業では、県内の自治体や鉄道会社などと連携しネットワークを強化
- 今後のモビリティ強化においても、SSやレンタカー拠点、自治体等とのネットワークを強化



(注) SST : Sustainable Smart Town

- 横須賀市観音崎地域からスタート。電動キックボードシェアリングサービスを京急観音崎ホテルから開始



周遊ルートにおける移動・交通環境の改善（⑤交通関係事業、⑥実証事業）

周遊ルート「ルートミュージアム」全体を巡るツアー造成や、本事業で整備する観音崎地域の活性化イベントを実施する。

イベント電車の運行や、観光型MaaS/デジタルきっぷの利用促進など交通関係事業を展開する。

また、周遊ルートを巡る交通環境の改善に向け、国の「新事業特例制度」を活用した電動キックボードシェアリング実証実験を実施することで、広大な公園内の移動環境改善を図り、公園全体を移動しながら滞在する観光を提案する。



ラッピング電車を活用したPR展開



電動キックボードシェアリングによる回遊性向上

- 京急グループを始めとしたCOCOONファミリーと連携し、三浦周遊プランの拡張を図る

観光型MaaS「三浦Cocoon」の実装による分散化・混雑回避事業

(事業の概要を記載)

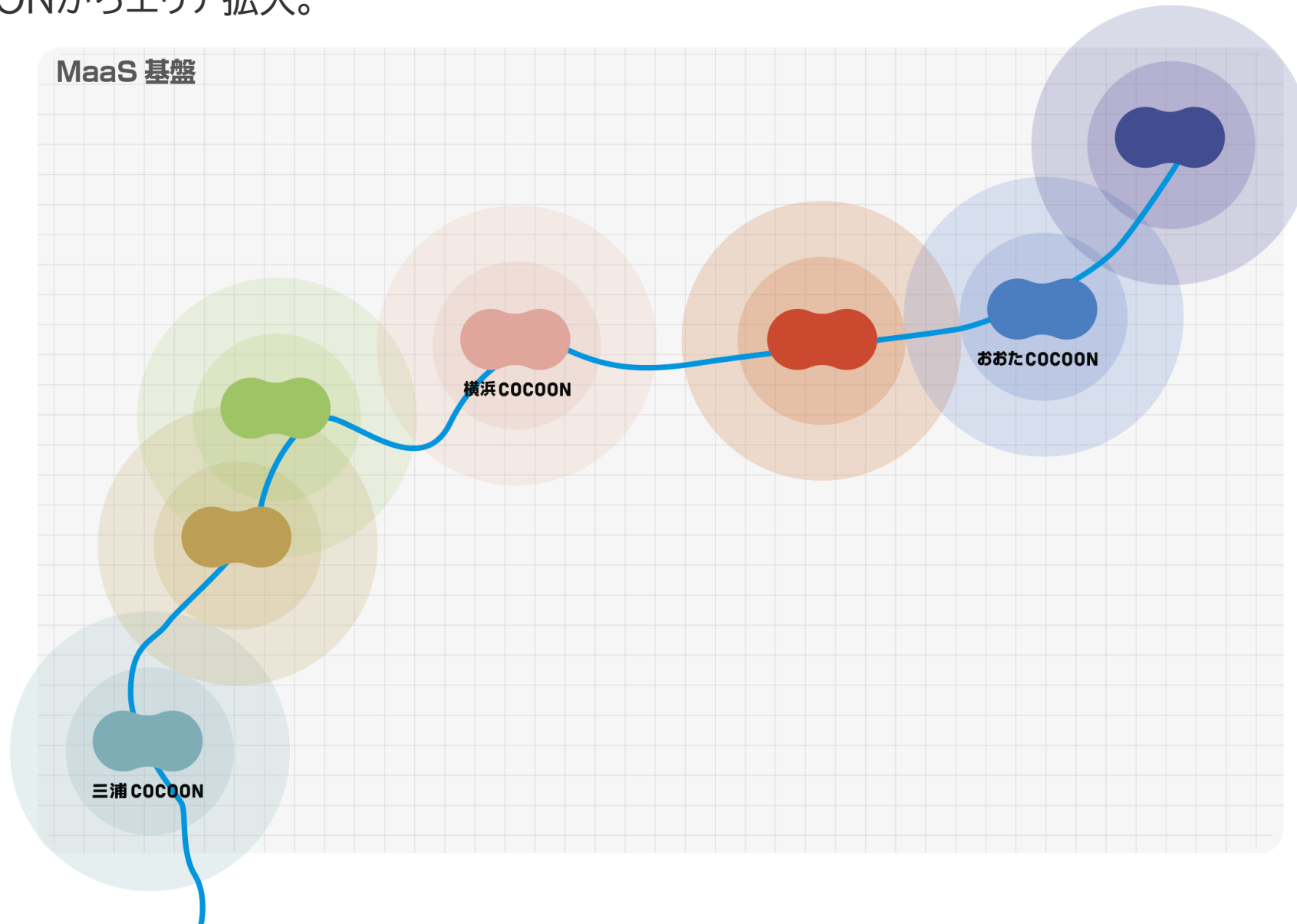
観光型MaaS「三浦Cocoon」と「観光ナビ」を連携させ、風光明媚なスポットや施設を巡る観光ルートを生設計・発信することで、渋滞の解消など社会課題の解決を図る。同時にモビリティ基盤を整備することで三浦半島の観光周遊化を実現する

協会の 構成員	観光型MaaS三浦Cocoon推進協議会 京浜急行電鉄株式会社(幹事社)、株式会社アイシン、株式会社サンオオクス、みらいレンタサイクル運営協議会、scheme verge株式会社、ジョルダン株式会社、横浜質市、三浦市	観光型MaaS「三浦Cocoon」と「観光ナビ」連携によるサービスイメージ ①「観光ナビ」による行動変容 ②観光型MaaSとのシステム連携による消費拡大 ③事業者連携で2次交通基盤を整備 評価指標 今後の方向性
地域 課題	【課題①】特定エリアやルートへの集中による渋滞や密集 特定幹線道路への集中や駐車場不足で渋滞が慢性化しているうえ、各所で旅客密集も発生しており、ルートや時期の分散、感染拡大配慮が必要 【課題②】観光情報不足による消費機会ロス 「よこすか海浜さくがし」等で多くの観光客が訪れるが、飲食後の滞在コンテンツや交通手段がわからずそのまま帰ってしまうため、機会損失が生じている。 【課題③】観光拠点を回避するためのモビリティ整備の必要性 点在する自然環境や店舗施設などを回避する2次交通拠点が不足	
事業 概要	サービス開始時期: 2021年12月 エリア: 横浜質市、三浦市エリア ※三浦CocoonFamilyには、鎌倉市/逗子市/葉山町も参加 MaaSシステム: ①観光型MaaS「三浦Cocoon」 ②アイシン「観光ナビ」 交通サービス: 「Cocoonモビリティパッケージ」 鉄道、バス、タクシー、カーシェア、レンタサイクル、電動キックボード、キャンピングカー、ヘリなど 交通以外のサービス: 「三浦CocoonFamily」参加各団体(2021年7月時点88団体) ※三浦Cocoon Familyに参加している自治体、観光協会、アクティビティ事業者、サポート企業、京急グループ施設等	
事業 目的	【事業①】「観光ナビ」による行動変容(混雑回避と周遊化) 事前に回避してもらいたいルートを作成し、旅客の行動変容を促すことで、渋滞の解消や観光消費の拡大など、社会課題の解決を達成する。 【事業②】観光型MaaSとのシステム連携による消費拡大 「よこすか海浜さくがし」デジタルチケット化など観光型MaaS「三浦Cocoon」と連携した観光案内を展開。地域事業者が相互に利用者に対してコメント、乗客することにより回避を促進し、滞在時間と観光消費拡大を目指す。 【事業③】事業者連携で2次交通基盤を整備 「Cocoonモビリティパッケージ」として11事業者が共同で拠点開発を行うことで、公共交通へのシフトやCO2排出の抑制も実現する。	



各沿線地区へ拡大

- 三浦COCOONからエリア拡大。



電動キックボード×川崎⇔羽田 ×経済産業省

- 多摩川スカイブリッジ キングスカイフロント（川崎）⇔HICity（羽田イノベーションシティ） **天空橋駅**
経済産業省より電動キックボード「**新事業特例制度**」認定➡昨年7月より実証を開始
- 観光振興、各施設利用者・企業就業者の移動ニーズ、インバウンド需要の回復。**小島新田駅ステーションからの利用**



- ※ 経済産業省 新事業特例制度
- ・申請事業者に対し活動計画を認定
 - ・最高速度15Km/h以下が条件
 - ・ヘルメットの着用が任意
 - ・自転車専用通行帯 走行可能



電動キックボード×横須賀エリア×京急×経済産業省

- 横須賀市、三浦市、京急電鉄様等と提携し、電動キックボードシェアリングサービスを展開
- 川崎・羽田エリアに次いで経済産業省より電動キックボード「**新事業特例制度**」認定を受け、昨年11月より実証実験を開始
- より観光周遊性の活性化とともに居住者利便性向上、交通渋滞回避手段として推進



専用ポート

- ・ヴェルニー公園
- ・コースカベイサイドストアーズ
- ・たたら浜 BEACH PARK LIVING
- ・ヴェルク横須賀
- ・横須賀温泉 湯楽の里
- ・ORIX横須賀中央

※ 順次増設を予定





- 「横浜市広域シェアサイクル事業社会実験協定」
- 「京急電鉄沿線全域における提携包括協定」 横浜南部から逐次ステーションを開設
横浜ベイサイドマリーナ最寄、よりみちガーデン（金沢区）他、京急富岡駅、八丁畷も開始予定

設置イメージ



社会実験の概要(事業目的)

- 1 公共交通の機能補完
- 2 地域の活性化
- 3 脱炭素社会の形成
- 4 交通ルール等の更なる周知啓発
- 5 事業採算性の向上

(1) 平和島駅前社有地の暫定活用

■目的 駅周辺の再開発に先立つ小さなアクションとして、「タクティカル・アーバンイズム」の手法により、小規模拠点化の実践を通じてエリアマネジメントを推進

■実施時期 2022年8月24日～2023年8月

■連携体制 大田区、日本工学院、当社(いわゆる「まちづくり会社」への委託は行わないことで運営費用の圧縮を図る。)

■得られる効果 ①地域の賑わいづくり ②地域課題の洗い出し ③地域活動の担い手探し ④MaaS基金拡大の拡大、5-体開発に向けた実証 ⑤駅周辺利用者の行動変容(喫煙場所以外での喫煙減少、駐輪減少、周辺回遊、駅周辺での滞在、過ごし方の変化など)

■その他 沿線各エリアにモデル地区を設定し、同様の展開を通じて沿線エリアマネジメントのパッケージモデル化を検討する。(八丁畷駅、金沢文庫駅、三浦海岸駅、三崎口駅など)

ONLINE

地域情報WEBサイト/MaaSサービス「平和島COCOON」

更新連携

1. 既存MaaS基金を活用し開発
2. 主な機能
 - ・地域情報発信
 - ・地域特集記事
 - ・キッチンカー営業予定
 - ・シェアオフィス予約、決済
 - ・モビリティ予約、決済
 - ・イベント予約
 - ・経路検索
3. 情報更新
 - ※地域主導での更新が望ましい

OFFLINE

COCOONひろば HEIWAJIMA

キッチンカー シェアオフィス
モビリティステーション

【内容】地域のイベント、防災、生活情報
【更新】自治会、活動団体、商店会など

まちづくりマップの設置

【記入】通行者の参加【アーカイブ】学校相談

地域交流イベント

- ・地域店舗の出店
- ・地域イベントの拠点化
- ・地域ワークショップ実施
- ・地産マルシェ、フリマ
- ・DIY、移動図書館

【運営】日本工学院、大田区、地域団体、住民

電動キックボード

【運営】ドコモバイクシェア、大田区

【運営】サンオータス

【運営】日本移動販売協会(モビマル)※日常管理も委託

シェアオフィス

【運営】当社直営【管理】無人管理、MaaS基金で予約決済



マルチモビリティシェアリングサービス

街の回遊性向上と環境負荷軽減に貢献

概要

- ✓ 小型電動モビリティ（小型 EV 電動自転車 電動キックボード）を街中の専用ステーションに配備する。
- ✓ 専用のステーションであればどこでも返却できるシェアリングサービスを提供することで観光客、市民に新しい移動の選択肢を提供する



価値提供

利便性の高い低炭素化街づくりの構築

- ✓ 【移動】公共交通ではカバーしにくい移動を支援。マイカー依存の軽減
- ✓ 【経済】回遊性が向上し、地域経済が活性化
- ✓ 【安全】三密を避けた移動手段
- ✓ 【環境】電動モビリティの普及による CO2 削減。EMS 技術を活用した再エネ供給も検討中
- ✓ 【防災】災害時は電動モビリティを市民の足や自立電源として開放



EVスクーター 導入予定



小型EV



SUNAUTAS MOBILITY

キックボード



SEA Board.

E-Bike



SEA Bike.

現在 新横浜地区でのサービス開始。23年11月～

現在 新横浜4か所と川崎でステーション展開

北新横浜駅徒歩4分EV車室2台 自転車6ラック



新横浜駅徒歩3分EV車室2台 自転車6ラック



新横浜駅徒歩14分EV車室2台 自転車6ラック



綱島駅徒歩12分EV車室2台 自転車4ラック



～再エネ×IoTを利用したクリーンモビリティのCo2削減による
市民の環境意識向上と、行動変容の促進
を目指して～

本事業では、サンオータスが川崎市と委託提携を締結している「環境技術産学公民連携共同研究事業」の取り組みの一つとして、川崎市のキングスカイフロントLiSE駐車場(LiSE 川崎生命科学・環境研究センター 川崎市川崎区殿町3丁目25-13)と、横浜市内の4ヶ所へ、超小型EVや電動アシスト自転車等、複数のモビリティが借りられるマルチモビリティステーションを設置いたします。

キングスカイフロントLiSE駐車場のステーションには太陽光発電を備えた電動モビリティ充電ガレージ「E-Cube(イーキューブ)」と、「CO2排出量/CO2削減量」の可視化ツールを導入し、再エネ×IoTを利用したクリーンモビリティによるCo2削減と、Co2削減量の見える化を実現いたします。



<https://sustainability.com/news/%e5%b7%9d%e5%b4%8e%e3%83%9e%e3%83%ab%e3%83%81%e3%83%a2%e3%83%93%e3%83%aa%e3%83%86%e3%82%a3%e3%82%b7%e3%82%a7%e3%82%a2%e3%83%aa%e3%83%b3%e3%82%b0%e3%81%ae%e8%a8%98%e8%80%85%e7%99%ba%e8%a1%a8%e3%82%92/>



- 電動モビリティとインフラを簡易に、ハイスピードに社会実装可
✓ 10平米以下建築確認申請不要で、即設置可
- 拠点で創るエネルギーを防災時の拠点、通信（5G/公衆Wi-Fi）
自動搬送ロボットなどによる電源整備など街に必要な機能を集約

再生エネルギー（PV）を活用した 移動可能マルチモビリティステーション

■ 太陽電池モジュール

- 種類：両面受光型 320W (W5,157×D4,069)
- 発電出力：3.84kW (パネル 12枚)

■ コンテナ

- サイズ：12フィートコンテナ
W3,175×D2,450×H2,500

■ その他

- 充電設備：16A 200V AC

■ オプション

- 自立パッケージ
- 鉛電池 19.2kWh, インバーター, 200V/4.0kW 100V/1.5kW





◆ マルチモビリティの展開【パートナー企業様、自社物件、自治体様】

◆ 公用車、社有車をシェア

【自治体、企業保有EV車両を休日土日シェア】

◆ 周辺移動需要へのシェア

【自治体、企業が保有する土地、商業施設にマルチモビリティ配備、通勤観光、商業施設回遊等の移動需要にシェア提供】

◆ 2023年～再生可能エネルギーでの供給を目指す

京急沿線が目指すMaaS

